

【型枠工】

職階	作業内容	技能レベル	必要な資格	必要な教育・訓練	備考
見習工 入職後 1～2年	・簡単な型枠支保工の組立て作業 ・作業に合わせた資材の準備、運搬	【基礎知識の習得】 ・工具、材料等の名称がわかる ・番付けの読み方等、型枠大工の用語を知り指示が理解できる ・型枠工として支保工等、材料の使用方法が分かり、相手ができる ・作業主任者の指示の下で簡単な型枠の下揃え、組立しができる ・安全基準が理解できる		・OJT ・社内新入社員教育 ・各種作業特別教育 (派遣)	
技能工 (B)ア)入職後 3～5年	・簡単な部分の建込み作業 ・資材の配置及びパイプ締め作業 ・柱、梁、壁建込み相番	【基礎技能の習得】 ・簡単な図面が読める ・簡単な部分の下揃え、建込みができる ・型枠支保工の知識があり、使用方法や用途の選択ができ、作業の内容が理解できる	○各種作業主任者 ・型枠支保工の組立等 ○作業主任者 ・1t以上の玉掛け業務 ・5t未満の揚貨装置の運転 ・高所作業車の運転	・OJT ・向上訓練（二級技能士課程）(派遣) ・各種作業主任者講習会 (派遣)	
技能工 (A)ア)入職後 5年～	・通常の建込み作業 ・型枠建込みに必要な墨出し作業 ・柱、梁、壁建込み及び建入チェック ・スラブ段取り、スラブ張り	【型枠作業全般に関する技能の習得】 ・通常の図面が読めて墨出しができる ・通常の番付け、拾い出しができ、建込みができる ・工程、人員の把握ができる、安全対策も含め、作業員を掌握できる ・施工に合わせた作業標準により作業ができる	・二級技能士	・OJT ・向上訓練（一級技能士課程）(派遣) ・職長教育 ・二級建築施工管理技士講習（社内） ・二級建築士講習（社内）	
職長 入職後 10年～	・特殊ケースも含めた全般の建込み作業 ・階段現寸型枠組、特殊型枠下揃え組立作業 ・支保工計画及び作業員の管理 ・型枠の精度の確保 ・型枠工事全般の責任者としての業務 ・生産性の把握及び工程管理、部下の教育指導業務 ・安全、衛生管理業務	【特殊ケースも含めた作業全般に関する技能習得】 ・特殊ケースが判断できる能力をもち、特殊な建物の型枠工事全般の段取り、計画打合せができる ・予算、工程、安全等の管理がトータル的にできる ・施工方法の決定を行い、その作業標準書が作成でき、他職種との調整、打合せができる ・自主検査ができる		・労働安全衛生法に基づく職長教育 ・一級技能士 ・二級建築施工管理技士 ・二級職長教育（社内） ・一級建築施工管理技士講習（社内）	